

目  
覧

# 青少年生浜

伸びよう 伸ばそう 青少年

令和7年2月14日

発行 生浜中学校区青少年育成委員会

編集 青少年育成委員会広報部

電話 043(268)2200~1

カレー配布



生浜中吹奏楽部の演奏



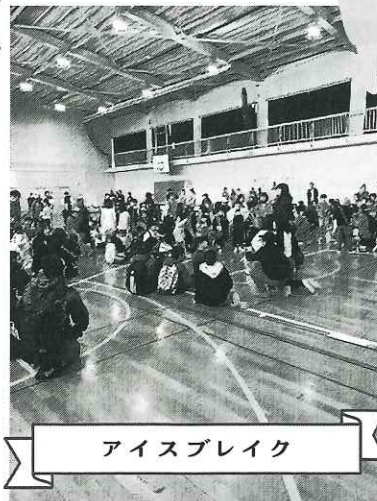
緑日



グラウンドゴルフ



アイスブレイク



## ふれあい祭り



人のつながりを感じた

ふれあい祭り

健全育成部 大竹 健太郎

今回、こどもふれあい祭りに初めて参加しました。健全育成部として少しでも学んでいきたいと思いました。

生浜地区はいつも人のつながりを感じます。必ず知っている方がいてくれる。皆さん協力的。安心感の中で、地元でない私も、積極的に準備に参加できました。会話も生まれ、初めてお会いした方との新しいつながりができていきます。

活動が始まる頃には仲間意識の中で各ブースにちよつとした絆が生まれました。参加した子どもたちもたくさん集まってきました。笑顔や笑いが生まれます。カレーの時間には、子どもも大人も笑顔。温かく、ふれあいのあるお祭りになりました。

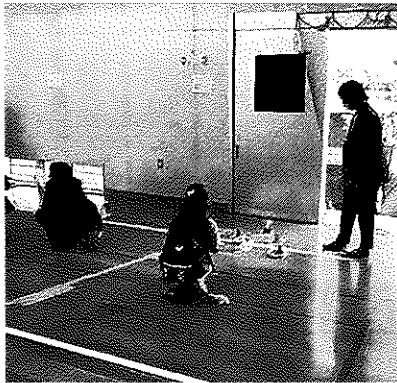
生浜地域で今までに築かれたしっかりとした人のつながり。それが様々な活動の成功につながっていると感じます。今後も新しいつながりができることを楽しみにしています。

最後になりましたが、ふれあい祭り開催にご協力いただいた各地域、諸団体の皆様に感謝申し上げます。

# 子どもふれあい祭り

たくさんの方のおかげで 楽しかった、ふれあい祭り 初めて参加したふれあい祭り 楽しかったふれあい祭り

生浜中 二年 稲田 彩花 生浜小 五年 松永 莉里 椎名小 六年 杉田 遼成 生浜西小 四年 谷口 華恋 生浜東小 六年 石橋 篤弥



私たち吹奏楽部は、昨年に引き続き、こども祭りで四曲演奏させていただきました。その中で、一番盛り上がったのは「名探偵コナンのメインテーマ」でした。小学生から大人まで、この曲に合わせて手拍子をしてくれました。会場が一つとなって盛り上がり、皆さんの笑顔を見ることができたことを、吹奏楽部一同うれしく思います。

最後まで、私たちの演奏を聞いてくださりありがとうございました。さらに皆さんが楽しめて、盛り上がることで、演奏を届けられるようにこれからもがんばっていききたいと思います。

ふれあい祭りで一番楽しかった事は、「わなげ」です。五回中、一回でも王かんに入ったらグミがもらえて、その他の所は、一つ入るごとに一つのおかしをもらえるとというルールでした。やってみると、二か所には入りませんが、王かんの所には入りませんでした。くやしかったです。もう一度やると、王かんの所に入ったので、とてもうれしかったです。他にも様々なイベントがあつて、全部楽しかったです。PTAの方々も作ってくれたカレーも友達とおいしく食べました。

ふれあい祭りを準備してくれた方々、ありがとうございました。来年もまた行きたいです。

ぼくは今回初めてふれあい祭りに行きました。緑日や射的など楽しい遊びがたくさんありましたが、一番楽しかったのはグランドゴルフです。広いグランドで、スコアなど本格的な部分もあつたのですが、気軽にでき遊び方も教えてくれるので、とても楽しく遊ぶことができました。

もう一つ楽しかったのが、一番最初にやったゲームです。「誕生日の月日の順にならぶ」というものでしたが、一つルールがあつて、「しゃべってはいけない」というものでした。これがまたむずかしい！身振り手ぶりで見んは伝えていたのですが、ぼくはスマホのラインメモで伝えていました。ですが、それでも難しく、みんなの気持ちが一体化するのがどれだけ大変なのかをあらためて知りました。

中学への道がわからなかったけれど、見てみたかったのいい機会になりました。中学生になるのが楽しみになりました。

私は、初めてふれあい祭りに参加しました。たくさんの方が加わりましたが、その中でも特に楽しかった体験が二つあります。一つ目はAED体験です。もし人が倒れてしまったとき、どのように助けたらよいかを考えながら、救助の仕方を学びました。誰かが困っていたら、率先して助けたいです。

二つ目は、スライム作り体験です。洗濯のりにラメやお湯などを混ぜて作りました。色がすぐくきれいで、さわやかな気持ちになりました。

十一月二十三日に生浜中で行われたこどもふれあい祭りに参加しました。このお祭りには、クリスマスリース作りができるブースやストラックアウトができる場所などがありました。特に面白かったのは、グラウンドゴルフと射的でした。

グラウンドゴルフは少ない打数で入れることができ、達成感があつてとても面白かったです。射的では一発で二個カップを落とすことができました。おかしのおめあわせをもらうことができました。いろいろな大人の方たちが準備してくれました。ありがとうございました。来年も参加したいと思います。

# 第23回 児童・生徒の夢を育む 標語コンクール

## テーマ「自分らしさ」

### 椎名小学校 四年

特選 米川 智 つらくても にこにこ笑顔 かわらない  
 優秀 南 花芽 やさしいな みんなとなかよく なりたいたい  
 優秀 中園 瑛麻 笑わせたい どんな顔でも にこにこに

### 椎名小学校 五年

特選 前田依唯菜 自信もて それもあなたの 個性でしょ  
 優秀 永田 愛葵 ちがうこと しっかり伝え 友達に  
 優秀 菅 達 諦めず 何でも挑む 好奇心

### 椎名小学校 六年

特選 塩川 結羽 かくさずに さらにさぞう 自分をね  
 優秀 梶谷あんず これからも たくさんやるよ 好きなこと  
 優秀 小野田 湊 ポジティブに 考えられる それがぼく

### 生浜西小学校 四年

特選 朝倉 花乃 大丈夫 自分で決めて いいんだよ  
 優秀 木村 円香 流されず 優しい心を 育てたい  
 優秀 安生 湊 あいさつは 人とつながる いい言葉

### 生浜西小学校 五年

特選 椎名 時準 明るくて 元氣なあいさつ いつもする  
 優秀 新井倅太郎 心のかべ いつも努力で 乗りこえる  
 優秀 野田 雫 だれとでも なかよくできる いいところ

### 生浜西小学校 六年

特選 上原子彩羽 自分自身 大切にできる 自分だけ  
 優秀 坂本麻理愛 なにごとも あきらめないで さいごまで  
 優秀 奥村 遥月 暗いこと 全て楽しく 考える

### 生浜東小学校 四年

特選 田村稀流空 かなえよう 夢に向かって がんばろう  
 優秀 樋口 大也 自分には 個性がいろいろ おもしろい  
 優秀 田中 拓実 個性はね みんなそれぞれ ちがうもの

### 生浜東小学校 五年

特選 小林 晴澄 いいんだよ がまんしないで 自分の気持ち  
 優秀 木内繪太郎 堂々と 自分らしさを つたえよう  
 優秀 田村 祥菜 ふみこんで 自分のとくぎ 表して

### 生浜東小学校 六年

特選 武藤あかり 合わせずに 自分の意見 伝えよう  
 優秀 中島 橙杜 全員が 持っているんだ 一番を  
 優秀 野村 莉杏 生きること 自分らしさの 証明だ

### 生浜小学校 四年

特選 星野 直斗 友達と ぼくでは違う 自分らしさ  
 優秀 野島 千聖 自分らしい 個性を見つけて 生きようよ  
 優秀 大橋 若奈 好き嫌い それがあなたの 個性だよ

### 生浜小学校 五年

特選 溝口 結香 ありのまま 自分の持ち味 大切に  
 優秀 今関澄々子 人は人 私は私の いいところ  
 優秀 山崎すみれ ぼくわたし にじ色の個性 みとめ合おう

### 生浜小学校 六年

特選 木幡えみり 友達と 意見も個性も 認め合う  
 優秀 鈴木 來波 とらわれず 自分の個性 発揮しよう  
 優秀 森 陽向 この思い 自分で伝える 勇気出す

### 生浜中学校 一年

特選 青山 虹輝 受け入れる 今の自分を 大切に  
 優秀 河村 昊樹 一人だけ 他は出せない その個性  
 優秀 永井 雄一 とらわれず 自分の個性 大切に

### 生浜中学校 二年

特選 渡邊 愛希 認めよう その人らしさ 大切に  
 優秀 大山 蒼 変えないで 自分らしさを 大切に  
 優秀 本間 智久 見つめ合う 一人ひとりの キャラクター

### 生浜中学校 三年

特選 高吉 真優 明るさと 夢と元氣と 自己愛と  
 優秀 川口 紗彩 コンプレックスも 全部含めて 自分の魅力  
 優秀 小河原舞優 それぞれの 光る個性を みごうか

生浜中学校区青少年育成委員会・福祉部

応募総数、各学校・1学年10組の中からの特選1・優秀2作  
品を厳選な審査において選出しました

### 標語コンクール

福祉部部长 市川 富士夫

標語づくりを通じて、児童・生徒に思いやりの心や優しい心などの育成を図ること、郷土を愛する気持ちを育てると共に、子ども文化の創造と継承を図ることを目的として実施しました。

今年の第23回標語コンクールのテーマは「自分らしさ」です。今年度も、千葉市青少年相談員標語コンクールのテーマと同じにして取り組みました。

あなたは人と話していて、その人の「自分らしさ」を感じたことはありますか、「自分らしさ」は個性とも言い換えられ、話し方や行動、しぐさ、考え方などにあらわれます。あなたの「自分らしさ」はどのような場面であらわれているか、あなたの考えや感じたことを標語にて綴ってもらいました。

この標語コンクールは生浜中学校区5校（小学校は4年生以上）の児童・生徒が7月上旬に作品作りに取り組み、たくさん応募していただきました。なお、審査は7月19日に育成委員会福祉部で審査を行い、前掲の作品が特選・優秀作品に選ばれました。

### 浜野町歴史散歩

レクリエーション部による研修会が昨年十一月十七日(日)、前年に続き「NPO法人ちば・生浜歴史調査会」(白井孝理事長)の皆さんのご協力により実施されました。

前年の生実地区に続き、今年は浜野地区を訪ねる「歴史散歩」を実施することができました。育成委員会のメンバー十九名の他、調査会の会員の方たちを含めた総勢三十九名が徒歩で過去にタイムスリップし、貴重な体験を二時間余りにわたって楽しみました。

当日は、午前九時に旧浜野町役場へ集合。調査会の方に用意していただいた資料をもとに、訪れる場所の概略説明を受けてから出発しました。まずは、海の碑と天神来迎などの絵馬が見事な塩田の天満宮を皮切りに、塩田川から名称が変更された浜野川を生浜高校方面へ向い「浜御蔵(はまおくら)」を目指しました。「浜御蔵」は、浜野湊に置かれた生実藩の蔵屋敷のことで、ここから年貢米が江戸へ船で輸送されました。そのあと、天照大神が岩戸から現れる「天戸開き」の絵馬が飾られ大國主命の子を祭神とする諏訪神社を見学。最後に頭本法華宗に属し文明元年(一四六九)日泰上人により開基されたと伝えられる本行寺を訪問しました。同寺では、第四十二世朝倉俊泰住職により土気城主酒井定隆による改宗令「上総七星法華」の根本道場として知られる歴史的な事実を紹介していただきました。

好天にも恵まれ、参加したメンバーの方々からは、「地域のことを少しでも知ることができ、とてもよかったです。これからも続けてほしい。」との声も聞かれました。

レクリエーション部 部長 鹿野 平吉



### 敬老会 子供ボランティア

#### 豊かな心を育む「子供ボランティア」

福祉部 事務局 川那子友宏

育成委員会では、子供たちが地域のお年寄りとの交流を通して、豊かな心を育むことを目的に「子供ボランティア活動」を計画し、毎年行っています。また、この活動は、学校・保護者・地域が連携して、子供を育成する地域の教育力を高めることも目的としています。今年度も多くの地域で「敬老会」が開催されることとなり、その会に参加しました。小学生はお年寄りに渡す折り紙を使ったプレゼント作りやお手紙を書くことで間接的に、中学生は敬老会当日に会場でお手伝いすることで直接的にお年寄りとの心の交流を図りました。

地域のお年寄りを思い浮かべながら一生懸命に折り紙を折る小学生の姿、会場でお年寄りに寄り添い優しく接する中学生の姿、そして何より「元気をもらった」と嬉しそうに微笑むお年寄りの姿から、この活動の重要性を痛感しました。来年度以降もこういった地域と子供たちがともに関わることでできる活動を大切にし、皆さんと一緒に子供たちの豊かな心を育んでいきたいと思えます。

#### ボランティアをとおして学んだこと

私が敬老会ボランティアで楽しかったことは、二つあります。

一つ目は、小学生たちと一緒にダンスをしたことです。突然のことでしたが、会場にいたみんなで盛り上がり踊ることができました。

二つ目は、ビンゴ大会のサポートです。来場したご老人方が配られたビンゴを手を持ち、いつそろうのかとわくわくしながら「どんな景品がもらえるのかね。」などと話しているのが聞こえ楽しかったです。

ぜひ、また来年もボランティアに参加したいです。

生浜中二年 藤崎 里菜



#### ◆ 編集後記 ◆

毎年子供の出生数の減少がニュースとなっていますが、令和6年度は全国で69万人となり過去最低を更新したそうです。実際、都市部を一步離れると子供の姿を見ることはめったになくなっていきます。そのような中で生浜地区は子供の数が一定数を保っています。生浜の子供たちがこの地域に愛着をもち、一人でも多くこの地域で生活していこうと思ってくれるように育成委員会は活動に力をいれていきたいと思えます。